



BMW Motorrad Photo Experience

サーキットを舞台にプロカメラマンによる写真撮影講習会を実施！

2輪専門誌などで数多く掲載される躍動感とスピード感溢れるバイクの走行写真。

カメラ好きであれば一度はその絶妙な描写に憧れたことがあると思います。

今回、そのような方々を対象に流し撮りをはじめとした様々な撮影テクニックを一流プロカメラマンが伝授する講習会を実施します。

講師は鈴鹿8耐やルマン24時間耐久レースなどのメジャーレースで数多くの作品を残す大谷耕一氏を起用。

カメラ初心者の方でも分かりやすく丁寧なレクチャーを行います。

撮影当日はBMW首都圏ディーラー主催のBMW Motorrad Circuit Experience in 袖ヶ浦（サーキット走行会）と併催となり、コースの中に入って撮影を行うなど、普段立ち入ることのできない場所での撮影講習も魅力のひとつです。是非、この機会に撮影技術のレベルアップをお楽しみください。



開催概要

- 催事名称：BMW Motorrad Photo Experience
- 開催月日：2022年5月15日（日）
- 開催場所：袖ヶ浦フォレストレースウェイ
- 参加定員：20名（定員になり次第、募集締切）
- 参加費用：11,000円／税込（昼食・傷害保険込み）
- 募集期間：3月28日（月）～5月8日（日）
- 撮影講習会タイムスケジュール（予定）
 - ・8:00：受付
 - ・9:00～13:30：講習会（座学講習～実技講習）
 - ・13:30～：昼食～解散
- 参加申込：BMW Motorrad 首都圏ディーラー

<参加条件>

- 参加者のカメラは一眼レフタイプが必須となります。
- 最低200mm以上の望遠レンズが必要となります。
- 未成年者の場合は親権者の同意が必要となります。
- 同日に行われるサーキット走行会参加者は参加できません。

講師プロフィール

大谷耕一（おおたに こういち）

- 世界 GP や 24 時間耐久ロードレース等世界中のモータースポーツや市販バイクを撮影。
- 国内外の2輪専門誌を数多く手がける。
- 1989年24時間耐久オートバイレースをテーマにした個展“86400秒の咆哮”を全国（銀座・新宿・大阪・名古屋・札幌）のキャノン・サロンにて開催。
- 1994年にはフランス／ルマン市にて個展を開催。展示作品の内、8点がルマン市立美術館に永久保存される事になる。
- 1998年にはルマン市市民ギャラリー開設10周年記念展（絵画・彫刻・写真等）に招待作家として出展。ルマン市市民による人気投票で全52作品中、8番目の投票数を得る。
- 2019年レースや市販バイクをテーマにした個展「Synchronicity ”光とバイクが融合する瞬間”」を銀座・大阪のキャノン・ギャラリーにて開催。
- 日本レース写真家協会（JRPA）会員

